

神戸市長 久元 喜造 様  
神戸市交通事業管理者 城南 雅一 様

## 痴漢行為は深刻な性犯罪であり未然に防ぐ対策に主体的に取り組む対応を求める要望書

2022年5月23日  
日本共産党神戸市会議員団  
団長 森本 真

市営バス、市営地下鉄の痴漢対策において、兵庫県警とも連携しながら取り組んでおられることに敬意を表します。

神戸市交通局は「痴漢行為は性犯罪としての認識に立っている」と表明されておりますが、現状の痴漢対策は、未然に防ぐ対策ではなく、被害が起きてからの事後対応にとどまっています。その結果、被害者が申告をしないかぎり、犯罪行為が見過ごされています。いま多くの被害者が声を上げられない実態がありながら、市営バス、市営地下鉄における実態調査を行わないなど痴漢対策について消極的と言わざるを得ません。

また、市営バス、市営地下鉄での痴漢行為は、神戸市の公共交通機関内でおこっている「犯罪行為」でありながら、当該の神戸市交通局の職員のなかには、いまなお「痴漢は迷惑行為」などとの認識に立った対応にとどまっています。

この間、神戸市会の予算特別委員会、都市防災常任委員会の質疑のなかで、神戸市交通局として「痴漢は犯罪」との立場に明確に表明していただき、バス、地下鉄の車内、地下鉄構内に啓発ポスターの掲示の準備をすすめているとお聞きしています。

貴職におかれましては、痴漢行為を未然に防ぐ対策の一層の推進のため、下記の事項の実施を要望しますので宜しく願います。

### 記

- 1、市営バス・市営地下鉄の車内に、音声で痴漢予防の啓発をすること。
- 2、兵庫県警のマニュアルによる対策にとどまらず、市営バス、市営地下鉄独自のマニュアルを作成し、対策を推進すること。
- 3、交通局全職員に対し、「痴漢は公共交通機関内でおこなわれる犯罪行為」という認識に立った職員教育・研修をおこない痴漢対策の強化をおこなうこと。
- 4、市バス、市営地下鉄の車内及び駅・ホームでの痴漢被害の実態調査をおこなうこと。
- 5、

以上